

薬だっ 知識

薬の種類が増えて困ることはないでしょうか。きちんと服用しているつもりでも、なぜか残りの日数がそろわないことや、「今日は飲んだかしら」と分からなくなつた経験があるかもしれません。服用方法を間違つたり、うっかり2度服用してしまつたりすることは、期待される効果が現れなかつたり、副作用を引き起こしたりするなど、患者さんにとって不都合な事態へつながる場合があります。

服用間違いの原因はいろいろと考えられます。慣れてしまつたために、うっかり飲み間違つてしまう場合、また、間違えないようにお薬カレンダーや1週間分のケース等に入れる時に入れ間違いを起こしている場合もあります。

薬を1錠ずつ切り離して入れる場合、似たような薬もたくさんあるため間違ふことがあります。

薬剤師が管理支援

22. 服用間違い防止

す。また、切り離すことで服用時に取り出しにくくなり、シートの角で指を切ってしまうかもしれません。うっかりシートごと飲み込んでしまい、消化管を傷つけてしまったという事例もあります。そのようなトラブルを防ぐために、薬局が提供しているサービスを紹介します。

〈薬の管理に困ったら〉

服用時点ごとに薬を分包する一酸化という方法があります。名前や日付、服用方法、医薬品名などを印字することで正しく服用できるよう支援します。印字の種類や有無は変更できます

（鹿児島県薬剤師会理事 濱田 知津子）

す。また、切り離すことで服用時に取り出しにくくなり、シートの角で指を切ってしまうかもしれません。うっかりシートごと飲み込んでしまい、消化管を傷つけてしまったという事例もあります。そのようなトラブルを防ぐために、薬局が提供しているサービスを紹介します。

一酸化の費用は保険でできる場合と自己負担の場合があります。また、自分での薬の管理が難しい場合には薬剤師が直接訪問し薬をセットしたり、服薬状況を確認したりなどの支援方法もあります。自分に合う方法をかかりつけ薬剤師に相談してみよう。



日めくりカレンダー形式での服薬支援。朝食後、昼食後など服用時点ごとに貼り付けてある

「令和元年7月9日掲載」(22. 服薬間違い防止)